☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

# 報道で見る氷上西高　２０１９

丹波新聞　令和元年７月４日（木）

## 氷上西

| 位置 | 氏名 | 学年 | 出身中学 |
|---|---|---|---|
| （投） | 谷川　竜輝 | 3 | 青垣 |
| （捕） | 上山　亮弥 | 3 | 春日 |
| （一） | 徳岡　樹洸 | 2 | 青垣 |
| （二） | 井上　連 | 2 | 春日 |
| （三） | 赤木　昂雅 | 3 | 氷上 |
| （遊） | 足立　秀太 | 3 | 青垣 |
| （左） | 坂本　明信 | 3 | 青垣 |
| （中） | 鹿間　勇樹 | 3 | 青垣 |
| （右） | 浦川　知也 | 3 | 氷上 |
| | 谷川　拓真 | 3 | 氷上 |
| | 山口　凪 | 2 | 青垣 |

**上山亮弥主将の話**

「チーム全体が楽しむことを第一にする。野球を続けてきて良かった、野球部を手伝って良かったと、悔いの残らない、納得がいく試合をしたい」

# 全力を尽くし野球楽しむ

部員不足という課題を乗り越えて出場する。失敗を恐れず、全力を尽くし最後まで野球を楽しむ。

4月まで3年生4人、2年生2人の6人で、春季大会は特別措置で柏原高校の4人との連合チームで出場した。新学期以降、部員獲得に動き、新入生の入部はなかったが、2、3年生が他の部活動から新たに加わり、チームが編成できた。連携不足と、野球経験が1年未満が5人おり、実戦不足が課題。

週に2日、全体練習日を設けており、「助っ人」もその日は野球部の練習に参加し、連携プレーを中心に取り組んでいる。

1年生から主力のエース、谷川竜輝君（3年）と上山亮弥主将（同）がチームを引っ張る。春季大会でも、谷川―上山バッテリーで、終盤まで競った展開に持ち込んだ。

左腕の谷川君は、制球力に優れる。四球で崩れることはなく、カーブ、チェンジアップ、スライダーなどを交え打たせて取る投球。守備がどれだけ機能するかが鍵。大会までに経験を積み、ミスをどれだけ減らすことができるかが試合を大きく左右する。

上位で得点をめざす。ランナーを返すか、出塁し生還することを期待し、長打力があり俊足の上山主将を3番に置いており、上山主将の前を打つ谷川君、パワーではチームナンバー1の4番徳岡樹洸君（2年）のバッティングが重要になる。